

# 平成29年第6回横手市議会9月定例会 一般質問要旨

## ■ 一般質問の日程

平成29年9月6日（水）～7日（木） 本会議

※午前10時、開会の予定です。

## ■ 一般質問の順序

期日	順番	議席番号	議員名	質問区分	頁
6日	1	19番	佐々木 喜一 議員	一括	1
	2	3番	立身 万千子 議員	一括	2
	3	7番	土田 百合子 議員	一括	3
	4	12番	奥山 豊和 議員	一括	5
7日	5	24番	齋藤 光司 議員	一括	6
	6	5番	小野 正伸 議員	一括	8
	7	14番	菅原 正志 議員	一問一答	9

### ※質問区分の説明

- 一括・・・「一括質問一括答弁方式」の質問方法で、議員が質問項目すべてを演壇で一括して質問し、その後、執行部（市長や教育長など）が演壇でその質問項目に対して一括して答弁を行います。再質問は、議員は質問席で行い、執行部は自席で答弁します。
- 一問一答・・・「一問一答方式」の質問方法で、議員は質問席から1つの質問項目ごとに質問し、執行部は自席から答弁を行います。

# 1. 【19番 佐々木 喜一 議員】(一括質問一括答弁)

## 1. 投票所における投票管理について

- 1) どのような方法で役割の周知を図っているのか。

## 2. 上水道の未普及地区について

- 1) 水量・水質に不安を持っている地下水利用の地区への対応は。

## 3. 再選を目指す市長の思いを問う

- 1) 再選を目指している今の気持ちは。
- 2) 公約とする事項は。
- 3) 4年間の市政で最も難しいと感じたことは。
- 4) 議会との関係をどうありたいと考えていたか。
- 5) 6月議会で議決した決議についての対応は。

## 2. 【3番 立身 万千子 議員】（一括質問一括答弁）

### 1. 国民健康保険制度運営の都道府県化について

- 1) 厚生労働省は、7月10日、第3回の試算方針を通知した。それによると、制度移行に伴う「保険料負担の激変」を極力避ける姿勢を明確にし、法定外繰入れを含めるなど第2回までの方針とは大きく変わっている。

そこでは国への情報として市町村ごとの試算結果の報告が求められている。市の方針はどのようなものか問う。

- 2) 資格証明書や短期被保険者証の発行、秋田県地方税滞納整理機構との関係は都道府県化によってどう変わるのか問う。

### 2. 第2期データヘルス計画策定にあたって

- 1) 「県の評価委員会の評価を受けるように」と国が指針を出していることを踏まえ、市が指摘された事項はどんなことで、それを第2期計画にどう反映させるか問う。

- 2) 糖尿病対策や高血圧症対策等を計画に記載する際は、その予防策等を国保の事業計画として行うことになるだろうと考えるが、市民生活部と健康福祉部はどう連携して、県の評価委員会に対応するのか問う。

### 3. 後期高齢者医療制度の保険料軽減措置について

- 1) 「保険料軽減措置の継続」を願う意見書案が秋田県後期高齢者医療広域連合議会に提出された際、横手市選出議員である高橋市長は討論さえせず、不採択を表明した経緯がある。今もその考えは変わらないか。

### 3. 【7番 土田 百合子 議員】（一括質問一括答弁）

#### 1. 災害対策について

- 1) 記録的大雨の影響で上溝川が氾濫し、甚大な浸水被害が発生したが、今後の改善策について伺う。
  
- 2) 災害発生時の対応について
  - ① 災害情報、避難情報が市民へ伝わるよう伝達体制の安全・安心メール、防災行政無線、コミュニティFMなどを通じての発信がうまく機能しなかった課題を伺う。
  
  - ② これまでは、主に地震を想定してのマニュアルを作成してきたと思うが、水害時の初動対応のマニュアル作成が必要と感じたがどうか。
  
  - ③ いざというときの「緊急連絡先電話番号」を明確にするべきであるとする。
  
- 3) 避難所の課題について
  - ① 災害対策本部を立ち上げ、早急に避難所を設置し、迅速に対応していただいていると感じているが、避難所となったふるさと館の入り口は、膝上まで冠水、八沢木公民館周辺では、土砂災害が起きるなど避難場所のあり方について検討が必要である。また、避難された方から、トイレの洋式化等の要望があったが「避難所のバリアフリー化」の考えについても伺う。
  
  - ② 被災時に必要となる食料、生活必需品の内容を事前に把握し、適切な備蓄の検討が必要であると思うが考えを伺う。
  
- 4) 横手市災害見舞金は、建物が床上浸水したとき一世帯3万円となっているが、床下浸水の場合は支給されない。見舞金のあり方について今後の考えを伺う。

## 2. 被災者支援システムの導入と運用について

平成 23 年 6 月議会一般質問の答弁では、「被災者支援システムは、大規模災害時における被災者情報を一元的に管理し、支援サービスを迅速に行うためのツールとして有効である。現在、災害により電算システムに壊滅的な被害を受けた際のデータのバックアップ体制や、システム復旧方法等に関し検討を進めている。今後、システム復旧全体計画と合わせて検討していく」とのことだったが、その検討結果を伺う。

## 3. 地域要望について

### 1) 境町関合地区の水路整備について。

冠水改善のため、平成 27 年 11 月に市道と接続部の流出口を拡大する工事を実施しているが、翌年の 7 月にまた冠水し、根本的な改善が必要であると考えているかどうか。

### 2) 「大鳥井山遺跡」指定区域内の水路整備について。

### 3) 赤坂荒沼地区の浸水対策について。

平成 28 年 12 月に側溝整備と道路面のかさ上げ工事が完成したが、今回の大雨により冠水している。さらなる改善策について伺う。

### 4) 大納川沿いの遊歩道が危険な状況にあるため、安全対策が必要であると考えているかどうか。

## 4. 【12番 奥山 豊和 議員】（一括質問一括答弁）

1. 高橋市政の4年間を振り返り、「部局横断」の具体的取り組みと成果を問う。

- 1) 特に、DMOやまんが美術館のリニューアル、応援人口の拡大や移住促進等の地方創生系事業、横手市財産経営推進計画(FM計画)や、地区交流センター化については、市役所組織の縦割りを乗り越え、「大局観」に立った発想や政策立案と力強い事業展開が必要である。将来の横手市を見据え、持続可能なまちづくりを進めていくためには、これまで以上に、議会のみならず広く市民の皆様との合意形成を図りながら、官民が連携しオール横手で取り組んでいかなければならない。

この4年間、具体的に市役所組織内で何をどのように「部局横断」し、市長はリーダーシップを発揮してこられたのか。度重なる事務手続きのミスや似たような不手際が繰り返されていることを見ても、危機管理やリスク対応という意味での「部局横断」が働いていないように感じる。

## 5. 【24番 齋藤 光司 議員】（一括質問一括答弁）

### 1. 横手市公共温泉施設の民間譲渡に向けた取り組みについて

- 1) 譲渡候補者選定において、交渉事業者なしとなった「ゆっふる」「さくら荘」「ゆとりおん大雄」についての審査経緯と、理由として何があったと市で考えているのか伺う。
- 2) 6施設については、交渉事業者が決定したわけだが、市としてこれからこの6施設について譲渡条件等、どう調整をし、譲渡の可否を決めることになるのか伺う。
- 3) 市長の今議会の所信説明によると、10月に譲渡候補者を最終決定する。また、最終的に譲渡候補者が決定できなかった施設については、存廃に関する考え方を12月までにまとめるとしてあるが、当市の政治スケジュールの中で10月15日に市長、市議の選挙がある中で、譲渡候補者の決定は選挙後にすべきであり、また応募のなかった「ゆっふる」「さくら荘」「ゆとりおん大雄」についての存廃は選挙前に提示をするというのが市長としての責任と思うが考えを伺う。

### 2. 雨水対策について

- 1) 雨水による浸水常態地に対しての市としての危機管理はどうなっているのか伺う。  
また、その解決方法や予算措置も含めて、どの部、どの係が責任を持って解決していくのか伺う。
- 2) 地域の雨水の受け皿としての堰の排水機能が昨今の農業事情により著しく低下をしている。災害予防という視点から、市としての考えと対応を伺う。

## 2. 横手の将来展望の中で必要不可欠な市内にある施設等の情報収集について

- 1) 横手駅のびゅうプラザが廃止をされ、利用者である市民が不便を感じている。閉鎖までの過程の中で、市として精一杯の対策、努力をした上での結果でなかったこと、平成 19 年から 23 年まで横手駅舎新築に 44 億 6,000 万円、平成 28 年度だけでも東西自由通路等に 1,880 万円も市税を投入しているにもかかわらず J R 側の一方通行での閉鎖決定。そして、その通知をただ飲んでしまった市の対応に戸惑いを感じている。今市として市内にある公共財の存廃、また、民間であっても公益につながる施設の存廃の情報はどのようにして収集されているのか。また、その情報が庁舎内でどのように共有され市としての対策がなされているのか伺う。



## 6. 【5番 小野 正伸 議員】（一括質問一括答弁）

### 1. 7月の豪雨災害の教訓から

- 1) 現行の避難所は、主に地震の災害を想定した設置の仕方と思われるが、スポット的な水害では避難所までたどり着けない。一次避難所として、町内会館等を指定し、安全確保を図ることが得策と考えるが、今後の対応を伺う。
- 2) 隣接自治体との災害協定について伺う。（避難訓練とゴミ集積所への看板設置）
- 3) 防災ラジオの有効活用はもちろん、消防団や民生委員等を含めた情報伝達方法の再構築が必要と思われるが、市の対応を伺う。

### 2. 全国学力テストについて

- 1) 部活動の長さと成績は相反するような報道もあったが、実際のところどのように分析しているのか。
- 2) 小学生（スポーツ少年団）と中学生（部活動）の一貫した指導体制が必要と思われるが、考えを伺う。

## 7. 【14番 菅原 正志 議員】(一問一答)

### 1. 横手市の目指す地域のあり方を問う

- 1) 地域の未来像をどう考えるか。
  - ① 人材の活用について。
  - ② 地域や住民が実施主体となっていた事業の今後について。
- 2) 地域と地域局との関わりについて。
- 3) 地域づくり事業のその後について。
  - ① 人材の活用について。
  - ② 地域や住民が実施主体となっていた事業の今後について。
- 4) 地区交流センターの現状について。
- 5) 地域を担う組織のあり方について。
- 6) 地区会議の再編について。
- 7) これから地区交流センター化を目指す地域への取り組みについて。
- 8) 総合交流促進施設がある地域の交流センター化をどう進めるのか。

## 平成29年9月定例会日程予定【会期26日間】

—— **本会議** 午前10時開会予定です・傍聴できます ——

- ◇8月28日（月） 〔開会〕議案上程 ほか
- ◇9月 5日（火） 会派代表質問
- ◇9月 6日（水） 一般質問
- ◇9月 7日（木） 一般質問
- ◇9月22日（金） 委員長報告 ほか 〔閉会〕

— 傍聴席は本庁舎7階です —

—— **委員会** ——

- ◇8月28日（月） 一般会計予算特別委員会
- ◇8月28日（月）～29日（火）  
決算特別委員会
- ◇9月12日（火）～14日（木）  
決算特別委員会分科会、各常任委員会、  
一般会計予算特別委員会分科会
- ◇9月20日（水） 決算特別委員会
- ◇9月22日（金） 一般会計予算特別委員会

横手市

検索

横手市のホームページにあります、

**議会**のコーナーをクリックしてください。

本会議録画・会議記録・市議会だよりを  
いつでもご覧いただけます。

### ◇ 横手市議会事務局 ◇

〒013-8601 横手市中央町8番2号（横手市役所 本庁舎 6階）

TEL：0182-32-2535 FAX：0182-32-6539

E-mail：gikai@city.yokote.lg.jp

横手市議会マスコットキャラクター

“しらとり議員”

